

夏を生き抜く知恵を求めて

教育局長 小川宣嗣



「この地上には小さいものが四つある。それは知恵者中の知恵者だ。蟻は力のないものたちだが、夏のうちに食糧を確保する。」（箴言三〇・24、25）

*

夏の暑さを表す表現には「猛暑」「酷暑」「激暑」「炎暑」等いろいろありますが、最近地球温暖化の影響によるものか日本の「暑さの質」が変わったと言われ、その表現も「災害級の暑さ」「命に関わる危険な暑さ」等とよりグレードアップ、深刻な暑さへの注意喚起がなされている昨今です。その厳しい夏をしっかりと生き抜く蟻の知恵について、聖言から教えられます。

箴言の締めくくりにあるアゲルのことばで、「自分には人間としての分別がない、知恵を学ばず、聖なる方の知識を持たない」と謙虚に認めつつ、神に真の知恵を求めながら、四つの「知恵者中の知恵者」について取り上げています。それは単なる人間的格言に留まらない聖霊による真理の教えで、その筆頭が蟻です。

蟻に教えられる知恵の第一は、自分自身を正しく弁えていることです。地上の他の生き物と比較すれば、蟻は本当に小さな力のない存在に過ぎません。「私たちはロバの子です」というCSさんびかもありますが、蟻の小ささはロバどころではありません。しかし、神の知恵は、その小さい弱い取るに足りない存在に宿っています。神のまなざしはいつでも、大きな・強さ・正しさを誇る者ではなく、小さな・弱さ・罪深さを自覚して謙る者に向けられます。主イエスは私たちに「小さな群れよ。恐れることはありません。あなたが

たの父は、喜んであなたがたに御国を与えてくださるのです」（ルカ一一・32）と語りかけておられます。二つめは、今がどんな時かを弁える知恵です。夏は後に続く季節へのプロセスに過ぎません。今がすべてという錯覚に陥ることなく、先に待つ永遠への備えを意識することです。「わたしたちは、わたしを遣わされた方のわざを、昼のうちにやらなければなりません。だれも働くことができない夜が来ます」（ヨハネ九・4）と、主も時の弁えの大切さを教えました。しかし、それを恐れの際配の中で捉える必要はありません。「御前に立つとき、私の隣に、とりなしを担う愛の大祭司、私の名前はその手に刻まれ、私を天から引き離すことは、誰にもできない」（教会福音讃美歌316番一節）との恵みの事実を絶えず覚えることができれば幸いです。

最後は、求めるべきものは何かを弁えていることです。真の意味で確保すべき食糧、私たちの霊的生命を支える糧、それは言うまでもなく天からのまことのパンであられる主イエスご自身、みことばを通して培われる主との生きた関係です。

今夏も厳しくなるであろう暑さを生き延びるために、冷房の賢い使い方や上手な休み方等の工夫は大切です。しかし併せて、聖書の示す知恵者中の知恵者の生き方に倣うことを心したいものです。聖会やキャンプ、各教会の営みが、この夏ならではの恵みに満ちあふれたものとなり、一人ひとりの内に、永遠への備えが豊かに与えられる時として用いられますように。

目次

- 夏を生き抜く知恵を求めて……小川宣嗣……1
- 神学院70周年、同窓会セミナー、出版事業部……2
- JEA総会の報告、カナ・フェロシップ……3
- 海外トピックス、国内教会局、読書のひろば……4
- JHA 青年大会、神学宣教研究委員会、燭台……5
- 広げた翼……6～8
- 聖宣神学院報……9～11
- 公報、消息……12

聖宣神学院創立70周年記念式典

恵みに活かされた
メゾジストを育てる
使命を心に刻み

神学院院長 河村従彦

中山朝雄兄から、それぞれ幸いなお祝辞を頂戴しました。あわせて同窓会長から後援会長に、同窓会からのBTC創立70周年記念感謝献金の目録が進呈されました。

神学院の歴史は、保持すべきものと時代に合わせて対応すべきもののバランスを模索し続けた歴史です。式辞で示された仕えるという方向性は、イエスさまに出会い、イエスさまを生きる奉仕者にとつては自然な姿です。今の時代のニーズを見すえた、仕える奉仕者が輩出されて行くことこそ、責任をもって聖と宣のメッセージに生きたことではないかと、改めて恵みの記念塚を建てることができました。

お祈り、また70周年記念感謝の献金をありがとうございます。同窓会ホーム・カミングにあわせて実務運営を担ってくださった信徒局の皆さまのご活躍も、新しい恵みの一ページとなりました。心からの感謝を表します。

まず、キャンパス整備について、メンテナンส์委員長の田中進先生からスライド・ショーによるご報告をいただきました。続いて、代表の内山勝先生から、「あなたがたもまた、互いに」（ヨハネ一三・14）と題して式辞説教をいただきました。聖宣神学院のホーム・ページに掲載されている教育指針「恵みによって活かされるメゾジストの奉仕者の養成を目指して」の部分が引用され、ご自分のお証しもふまえて、仕えることを学ぶ神学院であるように、これからの指針が示されました。



前教団代表の藤本満先生、同窓会長の宮川浩二先生、後援会長の

神学院同窓会ホームカミングデー

創立70周年の記念の年に

主の許にリターンズ！
たくさんの恵みを受けて

同窓会副会長 葛田直毅

グループによる出し物も披露されました。信徒の方々には「新しい発見」や「カルチャー・ショック」もあったようですが……。

夜は中原待望師がヘブル二章、ルカ二章から「忠実な大祭司」と題してメッセージを語ってください、少人数で祈り合う時を持ちました。

2日目は寮別の早天祈祷会が始まり、男子は飯田岳師、女子は吉川あゆみ師がそれぞれ当務されました。朝食のあと、掃除と70周年記念式典を挟んで閉会チャペルタイム（副会長が当務。ヒリヒリ三章）が行われ、参加者中の最長老、三森春生先生の祝福で締めくくられました。最後に久しぶりの集合写真を撮り、昼食のカレーを頂いた後（飛び入りの賛美の熱唱もありましたが）、暴風雨の中を、それぞれ帰途に着きました。貴いお祈りに改めて感謝いたします。



特に今回は申し込みから当日の受付、宿泊、写真、交通そして食事までのすべてを信徒局（関東近郊の5教会から）の17名の信徒奉仕者が担ってくださいましたので、予定以上の働きが加わりました。ウエスレーチャペル開会チャペルタイムは宮川浩二会長より「ベテル・リターンズ！」と題して創世記三五章からメッセージが語られ、その後、卒業期別に男女別に9つのグループに分かれての交わりの時がありました。夕食と共に「クリスマス・リターンズ」（司会は荻野倍弘師）が行われ、9つの

出版事業部から……

教会下の学びのため
良書の改訂増補版

出版事業部 川村和臣

5月31日、今年の出版事業部常勤部会が行われました。

まず、新刊書等の販売状況が報告されました。新しい聖書は伝道版、新約版など各種発行されていること、新刊（信仰教理問答集、こころCate）はよく販売できたこと、またインマヌエル讃美歌は在庫がああと100冊を切っていること等が報告されました。現在、出版部では求道、受洗、その後の信仰の成長を手助けできるような書籍の発刊を目指しています。

年末を目前に「道の光」（仮題）として聖書通読の助けとなる書籍を発刊します。新版「信徒の心得」も準備中です。また、きよめの学びのためにすでに品切れとなつています「聖化——聖徒は作られて行く」（アボット著）の改訂版も予定しています。

その他としては、式文の改定、JHAとも協議しつつですが「エマオの道」の改訂版、「ウエスレー説教集53」「こころCate」の増補した電子書籍化等が検討されました。また、消費増税への対応なども話し合われました。

第34回 日本福音同盟総会

心を一つにして
福音の信仰のために
力を合わせて戦い

深川教会 川嶋直行

リー(教団)関連で混乱していたA
EA、WEAが規約が整備され、
組織が修復されつつあることが報
告されました。今総会では、J
EA財政基盤健全化が大きな議題で
した。各教団の経済規模が縮小し
つつある中、JEAにしかできな
いことに集中すべきという意見も
出されましたが、危機的な状況
を脱する為、会費の20%増額が決議
されました。また、頻発する災害
に備えて基金の必要について討議
されました。

憲法草案では、その由来を記した
憲法97条が全文削除され、キリス
ト教由来の人権から脱却する動き
があること。それに対して我々は、
キリスト信仰を説く説教運動に
よって、地道に主の教会を建て上
げて行くことが鍵であると語られ
ました。一方、社会委員会から「天
皇代替わりに対する声明」が出さ
れ、これもJEAが担うべき役割
なのだと改めて思いました。
2023年に東海地区で開催予
定の第7回日本伝道会議について
報告がありました。今年は九州の
福岡で宣教フォーラムが開催され
る予定です。次世代育成に向け
て、各教団の宣教の取り組みにつ
いてのアンケート結果を踏まえて、
ディスカッションが行われました。
日本の宣教インフラとして、世界
とアジアの福音派を繋ぐハブとし
て、JEAの役割はますます増大
して行くことでしょう。

第34回日本福音同盟総会が、6
月3～5日、掛川市で開催され、
日本の福音派の教団、教会、伝道
団体から130名を超える方々が
集まりました。インマヌエルから
は、内山代表はじめ5名の代議員、
岩上敬人総主事、植木英次アジア
福音同盟議長、矢木良雄PBA理
事長が出席しました。冒頭、理事
長の広瀬薫先生から「神の国を現
わすJEA」と題して、ヨハネの
福音書一三・34、35からメッセー
ジが取り次がれました。「JEA
を見ると、神様の愛(アガペーの
愛)がどういふものであるかが分
かる宣教インフラ作り、特に、次
世代宣教における協力実践につ
いて『ベクトルを鮮明に、そしてス
タンスは広く』協力してゆくこと」
が確認されました。



第6回カナ・フェロシップは6
月15日に水谷潔先生を講師にお迎
えして、開催されました。
「踏み出そう、聖なる婚活に」
脳内婚活を後にして」と題して語
られた聖書の結婚観は未婚の方た
ちだけでなく、既に結婚生活をし
ておられる方々、とりわけ年頃の
子を持つ親の方々には必須の貴重
な講演でした(参加者60名程)。
結婚の条件としての自立、親離
れ(子離れ)、自分中心の心では
なく主のみこころを求めること
と、頭の中で考えるだけでなく、
ちょうどアブラハムがイサクの結
婚のために行動を起こしたように
勇気を持って具体的な一歩踏み出
すことが大切なこと、審査員のよ
うな目で相手を見るのではなく、
自分が相手にふさわしい者となっ
ているか、自分と向き合うことな
ど、大切なことを笑いを交えて分
かりやすく語って頂きました。
午後のカナ・フェロシップタイ
ムでは遠くから近くから、また友

カナ・フェロシップの報告
さらに広い協力の輪が
カナ効果を生み出すように



中目黒教会 馬場満子

好教団の教会からも男女のバラ
スも良く参加者が与えられ、初め
の緊張も時間と共に心がほぐさ
れ、温かい雰囲気の中での交わり
の場となったことは感謝でした。
今までのカナの働きによって実
際に結婚に導かれた方々、また意
中の人がカナ・フェロシップに参
加されたことを聞いて、アプロー
チされ、結婚に導かれたという
カップルも何組か起こされ(私た
ちはこれをカナ効果と呼んでいま
すが)主がこの働きを祝して下さ
っていることを見せて頂き感謝
しています。

次回は秋に新しい試みとして、
40代以上の男性を対象に(女性は
年齢制限をしません)内山勝先生
を講師としてお迎えし、カナ・フェ
ロシップを行う予定です。各教会
の現状をご賢察頂き、更なるお祈
りのご理解、ご協力を主にあつて
よろしくお願い致します。



国内教会局から

教会建設の務めに
先に進みましょう!

上半期の折り返し地点を過ぎたところではないでしょうか。夏の戦いが本格的に始まります。天来の祝福をお祈り致します。
金沢教会の講壇ではしばらくへブル書から恵みを頂いています。先日六章から



成熟を目指して先に進みましよう、と励まされました。さて進むにあたり、私たちに越えておかなければいけないものが残っていないか、と聖言は問い掛けます。回り道を試みましたが同じところをやり直すことになりそうです。無論、記者は聖徒たちを断罪することを目指してはいません。むしろ教会が救いの全うに繋がることを確信しています。そして何よりも神が公正で、教会の善きわざを一つも漏らさず報いてくださる方だと告げます。
私たちがこの年の折り返し地点を経て先に進むように励まされています。否教会はいつでも前に進むように励まされています。同じ神を仰ぎましょう(へブル六・1、12)。(鷲田崇志)

バルセロナ市議会都市計画担当のジャンネット・サンス氏は、「サグラダ・ファミリアのような象徴的な建築物が、許可を得ないまま違法に工事が進められていたという歴史的にも異例な出来事」をつい

ている。完成は、ガウディの没後百年に当たる2026年の予定。
「メッシを神と呼ばないで」と教皇がサッカーファンに注意
教皇フランシスコは、サッカー

ファンがメッシを「神」と呼ぶことに対し「神への冒瀆」とし、その呼び方はしないよう注意した、と英メディア「スカイニュース」が伝えている。
発端は、FCバルセロナのファンガリオネル・メッシを背番号10になぞらえ、しばしばスペイン語で神という意味に当たる「ディオス」をもじって「DIOS」と呼んでいること。スペインのテレビインタビューで、教皇は「理論上は冒瀆になる。そう呼ばれるべきではない」とコメントしたという。
番組司会者のジョルディ・エボルが、自分はメッシが神だと信じていると語ると、フランシスコは笑いながら「私は信じません」と答え、崇拝されるのは神のみだとし、メッシについては「彼は見ていて素晴らしいが、神ではない」と語った。教皇はサッカーファンとして知られており、ブエノスアイレスのチーム「サン・ロレンソ」のクラブメンバー。(平瀬聡樹)

海外トピックス



「工事開始137年後にサグラダ・ファミリア建築許可」
スペインのバルセロナにある、アントニ・ガウディが137年前に建設を始めた「サグラダ・ファミリア」(聖家族)教会にこの6月7日に建築許可が出たとAFP通信などが報じた。
1882年に建設が始められ、今では年間数百万人の観光客が押し寄せているサグラダ・ファミリアの工事が、建築許可を得ずに進められていたことが発覚したのは2016年のこと。アントニ・ガウディは1885年、現在はバルセロナに合併吸収されたサン・マルティ市の役所に建築許可を申請していたが、返事が得られなかったという。
に解決したと述べた。建築許可証によると、完成すれば高さ172メートルになるサグラダ・ファミリアの工事費は3億7400万ユーロ(約460億円)。その資金は寄付金と入場料のみで賄われ

読書の

ひろば



牧師必読の本です!

人権思想と

キリスト教

日本の教会の使命と課題

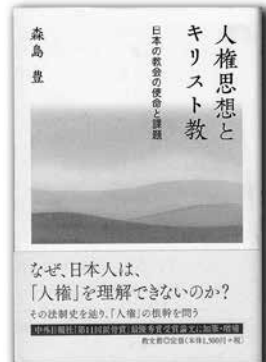
森島 豊著

教文館発行

定価1500円+税

6月のJEA総会の講演で講師を務められた森島豊先生の著書です。青学でも人気ナンバーワンの先生だそうです。極めてわかりやすい、歯切れの良さが身上です。なぜ日本の伝道はこれほどまでに難しいのか、だれもが悩む課題です。それに緻密な分析を駆使しながら答える意欲的な本です。

歴史という縦糸の中で、キリスト教がどのように扱われてきたのか、日本という国家が自由と人権にどのような向き合ってきたのか、これが横糸です。それが今の日本の政治情勢と、天皇制に凝縮して



表れていると論じられます。

明治の維新政府樹立の段階です。キリスト教は日本に相容れないという結論が出されてきました。当時の政権の正当性は天皇の神権的絶対性に基ついてきたからです。そして神道国教化の道を踏み出します。つまり「宗教を超えた宗教としての神道国教制」です。皇室の祭祀は宗教ではないのです。これは戦後、皇室典範に残ってしまった、事あるごとに政教分離の問題として裁判で争われています。

森島先生は日本での伝道の行き詰まりに、こうした日本社会のメタリティーが影響していると言います。つまり根が深いのです。

キリスト教の信仰が獲得した人権尊重の理念が、現行憲法の第97条に反映しています。これは人類が長い歴史の中で獲得した至宝とも言わべき宣言です。しかし自民党草案ではこれを削除しています。理由はキリスト教由来のものは日本に相応しくないというのです。

私たちはさらに多くの人々に福音を届けるために日夜努力し、工夫しています。同時にそれをつつ、もっと宣教の対象である日本の社会、歴史を知る必要があります。この本にはそのための資料や知見、歴史事象の分析や解説がふんだんに紹介されています。

森島先生は大学教員になる前の5年間、牧師として牧会の現場に立っていました。そうした経験から信仰的な、穏当な示唆を私たちに語ってくれます。(矢木良雄)

関東 JHA 青年大会報告

Praise & Talk きよめを新しく問い直す

王子教会 小林 佳

去る5月26日(日)に、関東聖
化交友会主催の青年大会「Praise
& Talk」が、チャーチ・オブ・
ゴッド川崎キリスト教会にて行わ
れました。講師はインマヌエル浦
和キリスト教会牧師の松井牧子先
生で、「キ・ヨ・メって?」キラ
キラ・ワクワクの毎日」という
テーマのもと、ローマ書五章を中
心にメッセージを語られました。
90名以上の参加となり、恵みに満
ちたひと時となりました。

チャーチ・オブ・ゴッドのユ一
スチームによる賛美リードにより
集会が進む中、聖宣神学院の峯尾
仰生神学生が「具体的にどのよう
にして召命へと導かれたか」をお
証されました。その後松井先生
がメッセージを取り次いでくださ
いしましたが、とても印象的だった
のは「そもそもきよめを知ってい
ますか?」「きよめに対してどん
なイメージを持っていますか?」
という問いかけが為され、その場
に集った方々が手を挙げられたこ



とでした。そしてこれを通して、
世代によってきよめに対する理解
やイメージに差があることが分か
りました。現代の青年たちは「そ
もそもきよめに関してあまり聞い
たことがない」という意見が多い
一方で、それよりも上の世代にな
ると「きよめに対してネガティブ
なイメージを持っている」という
方もおられることが分かりました。
このような状況を踏まえて、松
井先生は「きよめはクリスチャン
にとって必要なテーマであり、自
分の人生と深く関係がある」と告
げられ、ご自身の証を踏まえなが
らイエスさまの十字架と復活によ
ってきよめの恵みが与えられてい
ることをはっきりと語ってください
、「是非きよめを求めてくださ
い!」と告げてくださいました。
10月には元WGM総理ヒューバ
ート・ハリマン先生をお迎えして
聖化大会が行われます。お祈りと
共に、ぜひご参加ください。

③今後の「兼牧」を考え、教団内
外のケースを調べ、紹介していく。
神学部会、聖書部会は次年會
で発行予定の論集「聖書(下巻)」
の原稿をまとめていく段階に入り
ました。私たちの群れが重んじ、
また取り組み続けてきました聖書
信仰について前回発行しました論
集では歴史を追って振り返りまし
た。今回は神学的な考察と、聖書
学からの切り口を試みています。
先代から引き継ぎました副業を
地中に埋めることなく、却ってそ
の豊かさを少しでも探り出すこと
が許されたならば本望です。

①先のアンケートからの提言を、
「教会・役員会レベル」で伝道に
ついて話し合うための「デイス
カッション・ガイドライン」を作
成する。
②「伝道サポートシステム」には
教会を建て上げ育む視点が必要で
はないか。今後、時間をかけて改
善し、充実させていく必要がある
のではないか。積極的に国内教會
局に提言していく。

宣教研究委員会では、6月10日、
11日の会合で次の事柄を決めまし
た。
宣教研究委員会 内山忠信
神学・聖書部会 薦田崇志

神学・宣教研究委員会報告 教団が直面する課題に 積極的な提言を

5年ほど前から参加している市内
牧師会では昨年から各教会の教団
の紹介がされています。これまで
に日本基督教団の長老派の教会、
メソナイト、聖公会を取り上げら
れた時に私は残念ながら出席でき
ませんでした。3月はナザレン教
会を会場に、日本基督教団ホーリ
ネスの群れについてでした。ルー
ツは戦前の中田重治のホーリネス
教会の働き、分裂、そして宮崎に
も及んだ東条内閣による弾圧の歴
史と敗戦後の果敢な伝道でした。
●5月は聖公会を会場にインマヌ
エル教団の紹介でした。創設者が
弾圧による獄中であって生まれた
教団として、戦後「聖」と「宣」
を掲げてスタートしたことを薦田
直毅先生の「信仰のカルシウム」
にまとめられた内容で伝えまし
た。教団について説明しながら、
自分自身がそのスピリットに生き
ているかどうか問われる思いでし
た。そのあと一人の牧師から「自
分は悔い改めばかり繰り返し返して
いるが、罪性の解決はあるのか。」
と問われ、「あります。」と答えま
した。●別の機会に、受洗資格に
ついて尋ねたことがありました。
私としては「個人的な罪の悔い改

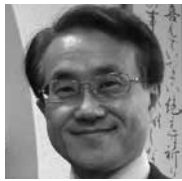
めと、十字架の赦しを信じること」
以外考えられませんでしたが、答
えていただいたのは「信条を学び
受け入れること」と、また幼児洗
礼を認めることでした。そのよう
なことを聞くと、井の中の蛙が初
めて外の世界を垣間見たような気
持ちがします。福音派だけではな
い超教派の集まりでは、長い伝統
を背景に、それぞれに違いがあり
ます。それをわきままえながら、自
分のアイデンティティーをしま
り持つて互いを認め、受け入れる
ことが大切なのだと思えられてい
ます。●10人前後の出席者は30代
から80代と幅広く、女性牧師が半
数を占めます。伝道や牧会の悩み、
教会学校の働き、新しい人を招く
ための工夫、子育てや牧師家庭の
こと、昔の神学生時代の失敗談な
ど召された者としての共通項も多
くあります。所属教団が遠く離れ
ているお互いにとって災害の多い
時代に助け合う仲間でもありま
す。7月にはインマヌエル教会を
会場に、ウエスレアン・ホーリネ
ス教団の牧師で現地の大学で学ば
れた女性が「現代イスラエル」に
ついて話しをしてくださいます。

アイデンティティーを
大切にしながら

(高梨侑子)

巻頭言

主の友として



世界宣教局 野田 禎

「アヒトフェルは王の助言者で、アルキ人フシヤイは王の友であった。」(一歴代二七章33節) ダビデの子、アブサロムが父ダビデに反逆しました。ダビデは都を捨てるように、野に逃れます。



広げた翼

Immanuel His Wings

Department of World Missions

世界宣教局

<http://www.immanuel.or.jp/world/>

王の助言者として活躍していたアヒトフェルは、アブサロムについてダビデの敵になります。一方、フシヤイは、都を後にし、悲しみの中にあるダビデのところに行きます。ダビデは彼に使命を与えます。それはアブサロムのところに戻り、アヒトフェルのはかりごとを壊すようにという使命でした。フシヤイはのちの危険を顧みず、アブサロムのところに行き、彼に仕えました。ある夜アヒトフェルは、野にいるダビデを一気に攻め込んで仕留めることを、王に進言します。なぜかアブサロムはフシヤイにも助言を求めました。フシヤイは今、攻め込んでもダビデを見つけれないので、十分な兵士を集めてから一気に責めた方が良いと進言します。フシヤイは大

一番の芝居を打ちます。アブサロムはフシヤイの提案を受け入れました。フシヤイは「王の友」と記されています。私はこの響きが好きです。この一節から神のご計画について思い巡らしました。
1、使命により派遣される大切さ。フシヤイはダビデから使命をもって使わされました。(6月葛田就子宣教師が、多くの祈りのうちにケニアに再赴任されました。)
2、使命を支える人達。フシヤイを知恵をもってサポートするアヒアマツとエブヤタルがいました。
私たちの働きに適応すると、神様から使命をもって遣わされる宣教師、牧師がいて、その働きを支えつつ共に戦う聖徒がいるということになるでしょう。
また、フシヤイは王の友と書かれています。イエス様がまず私たちの友となってくださったことを思います。私たちの主イエス様は私たちを罪の滅びから救う為にこの世に来てくださり、十字架にかかり、そして天に昇り、神は聖霊を遣わしてくださいました。私たちは、私たちが王であるイエス様の友としてできることがあります。それは、私たちに使命として与えられた大宣教命令のために、祈ること、そして宣教師とその家族のために祈ることです。そしてこの「全世界」は、私たちのところから始まっています。神様は私たちに語られます。「あなたも王であるわたし(イエス)の大切な友」だと。



KENYA

ケニア・テヌウェク

葛田就子*2019年6月7日

5月は教会関係以外の方々との繋がる機会が多くありました。検診などでお世話になった方々は、東北やカンボジアでボランティア活動をしたりしておられるそうです。テヌウェクに興味を持たれ、色々質問されました。いくつか訪問したい、とのことで連絡先を交換しました。以前から、テヌウェク病院の中央手術室から、心臓外科部門が独立する構想があります。その場合、中央との関わり、新人教育、勤務の割合は、と考えるながら昨年帰国しました。
帰国直後に立ち寄り、似たような展開をされていて気になっていた病院がありました。その病院の手術室を、4日間見学する機会が与えられました。また、スタッフの方々が、時間をとって様々なアドバイスをくださいました。さらに、将来や海外活動を考えている若いスタッフのために、と申し送り前の十分間をいただきました。映像を交えてテヌウェク病院の紹

介をしました。クリスチャンのスタッフにもお会いでき感謝でした。見学の窓口となった病院広報課の方から、学生やスタッフがテヌウェク病院を見学したい場合、受け入れ可能だろうか、と打診がありました。事前に時間をとって連絡して頂ければ善処します、とお答えしました。
5月は、水戸教会と深川教会に伺う事を許されました。ケニアとアジア、また東北の支援を目的としたバザーにも加えて頂き、幸いでした。
出国前、本部にご挨拶に伺いました。国内宣教局長にお祈りしていただき、改めて、「送り出している」思いを強くされました。祈られたごとく、ケニアで働く主の御業によって、国内にも祝福が及ぶように願います。
当日は中南米におられた世界宣教局長にも、後日祈る時を取っていただき感謝でした。
6月3日の午後、2人の先生に空港まで送って祈っていただいていたケニアに向けて立つことを許されました。行き届かない面が多々あり、予定を繰り下げながら、反省しながらの荷造りや片付けでした。しかし、とにもかくにも荷物をまとめ、ミッシェンハウスを空にして、空港まで行き着けたことは憐れみでした。
荷造りや発送など、管理人の水口兄弟ご夫妻を始め、多くの方々



TAIWAN

台湾

平瀬義樹・光世*2019年6月6日

「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。」一コリント三章6節

いつも台湾の働きを覚えて、お祈りとご支援、ありがとうございます。5月12日の日曜日午後の台南日本語礼拝は、日本語礼拝が毎週開催されるようになり、一周年を記念する時となりました。時の経過の早さを痛感しつつ、冒頭の「育てなされるのは神さま」という聖句が強心に通っています。今月は、「台南日本語礼拝」についてレポートさせていただきます。

1、台南聖教會発足時の集会は日本語で。その集会を振り返ると、本語で、本当に突然の事でしたが、台南聖教會のルーツを驚きと共に耳にしつつ、毎月第一の日本語集会を礼拝の形に変え、教会全体で支えて行きたいとの意向が申し入れられ、祈りのうちに毎週日曜日の午後、日本語礼拝がスタートしました。すでに教会内の神学校で学びと訓練の中にあつたK姉がみ

ことばの御用に立てられ、毎月一回・第二の日曜日は台中からの奉仕、第四日曜日は聖教會の教役者が輪番で御用に立てられ、日本語の通訳が入るといふ大まかな枠が決定され、集会がスタートしました。当初はみなが、暗中模索、手探りの状態で、戸惑いがありましたが、不思議に主がなされるの共通した認識がありました。初めて日本語で司会する人、初めて日本語で賛美をリードする人、初めて日本語で祈る人と、皆が初めての経験をしなが、そのために真剣に祈り、周到に備えるという姿勢が自ずと芽生えていました。

2、日本語奉仕者の拡充と信仰の成長。比較的台湾でも規模の大きな教会である台南聖教會とは言葉、一つの言語に特化しての働きは、その言語ができるだけでは務まらず、その言語を通しての宣教・伝道への大きな重荷がなければ、担い続けることは難しいものです。発足当時は、数名の日本語礼拝スタッフでしたが、回を重ねるにつれ、奉仕者、協力者、理解者がすこしずつ加えられていきました。一人で担っていた受付係が複数のローテーションに変わり、献金当番や感謝祈禱、音響調整やパワーポイント編集、動画配信を担う方々も、いつの間にか複数体制に変わっていました。信仰もって間もない愛兄弟が受洗の恵みと共に、その喜びと感謝にあふれて、生き生きと役割分担を担っておられる姿を見る度に、育て給う主の



御名を崇めつつ、大きな励ましを受けています。

3、台南日本語礼拝の必要と可能性。台南において毎週、日本語礼拝が開催されていることが教会発信だけではなく、個人のフェイスブック、ホームページなどで大々的に広告されるようになり、台南市内だけではなく、周辺の地域からも日本語での礼拝を求めて参加する方が起こされてきています。結婚を機に來台した邦人の婦人方とその子どもたち、日本語教育世代の年配者とその家族、日本留学・就学経験者の帰台組、そして日本への宣教のビジョンをもつ人など、多くの人々が日本語を通しての礼拝に関心や興味、必要を覚えていきます。一周年を越えて、さらに多くの必要に届くために、主の恵みの通り良き管として用いられますよう、引き続き、覚えてお祈りください。

今月はさらに外出が多くなった月でした。訪問団受け入れのためにオーダーしていたマットレスが入荷し、取り置いてあると連絡があり、友人のトラックで運んで頂きました。準備することはたくさんあるのですが、マットレスが用意できたことで大きな安堵感があります。オーダーしてから8か月かかりましたが、皆さんが寝るところだけは確保できました。お祈りありがとうございます。

教会への往復はかなり疲れを覚え、結局自転車に乗せてもらう方法が一番良いという結論になりました。自転車は自分でも乗れるのですが、ジンバの時の経験(自転車2回転んで結構な傷を負った)もあり、乗せてもらっています。それでも行きは5キロを歩いて教会にたどり着きます。早く着いたときは、お掃除もできるので助かります。疲れが半分になり教会生活が楽しくなりました。背後にあるお祈りを感謝いたします。



ZAMBIA

ザンビア

富澤 香*2019年6月1日

ザンビアの5月は乾燥し寒い季節となりました。特に5月中旬を過ぎて風が吹き始め、寒さが増してきました。クリニックでは風邪症状を訴える外来患者が多く訪れました。下旬には重症患者のケースが何件か続き、連日緊急搬送をすることがありました。ある成人のケースは無意識の状態で見送られ、クリニックに運ばれた時には手遅れで、病院に緊急搬送をしましたが搬送先の病院で亡くなりましたと聞きました。また新生児の緊急搬送は生後4週の子が肺炎で死した。2日前から状態が悪かったにもかかわらず家で様子を見ていて、クリニックに来た時には状態はかなり悪い状態で、すぐに緊急搬送をしました。今月にあつた幾つかの緊急搬送は救急車が1時間前後で来てくれて感謝でした。

上旬から中旬にかけて、ジェンボ地区の教会キャンプが始まり、続いて女性キャンプが持たれまし



ZAMBIA

ザンビア

根廻恵子*2019年6月2日

た。今回のユースキャンプは2年に一度の地区キャンプで、多くのユースが遠いところでは百キロ以上先から参加していました。2年に一度の大イベントで、毎晩もたれる集いはかなりの盛り上がりを見せました。若者同士が語り合う分科会も持たれ良き学びの機会となっていました。ユースキャンプ、女性キャンプを通して大きな事故もなく無事に終えたことは感謝でした。クリニックではスタッフ不足は変わらず続いており、クリニックに出っぱなしで、今月は個人的にどこかに出かけるということはできませんでした。■



PHILIPPINES

フィリピン

豊田常喜・恭子*2019年6月3日

常喜はミャンマーのウエスレアン教会からフィリピンに来て学ばれていたヴァン牧師の卒業を祝うためにアジア太平洋ナザレン神学大学院の卒業式に出席しました。ヴァン先生は、奥様とお子様たちをミャンマーに置いて来られ、経済的な理由のために3年間一度も

戻ることなく学びに専念され、この度卒業することとなりました。國重潔志先生が短期宣教でミャンマーのウエスレアン聖書学校で教鞭を執られたときの学生の一人でもありました。

私たちは聖書大学のプロモーションのために、リザル教会を訪ねました。リザル教会には、私たちの教え子たちが奉仕をされていましたので、前日より訪問し、一泊し、交わりのときをもたせて頂きました。聖日には、常喜が説教、恭子が学校案内と特別賛美をそれぞれ担当しました。リザル教会から、聖書大学のための献金と、農産物(お米、玉ネギ、ココナツの実)をいただきました。リザルに到着してから、宣教車の後部タイヤがパンクしていることに気づき、教会の方に手伝って頂き予備のタイヤと交換して何とか帰ってくる事ができました。

常喜はマニラ日本語キリスト教会(MJCC)で説教の奉仕をしました。現在、MJCCには専任牧師がおらず、信徒持ち回りでバブル・スタディという形で毎週礼拝を守っておられます。そのような中、月に1度、旧約聖書から説教してほしいという依頼があり、引き受けました。列王記の連続講解を始め、今回は2回目でした。また、今回は、常喜一人だけのマニラ上京となったために、ロザリスとマニラをバスで往復(片道4時間)しました。長旅でしたが、大変祝された1日となりました。

た。

ロザリス・ウエスレアン聖書大学では、第60期卒業式が執り行われ、神学部27名、宗教教育学部21名の合計48名が卒業しました。2週間前には実習地から卒業する学生たちが皆守られ誰一人欠けることなく帰って来ることができ、卒業式を祝福の内に迎えることができました。御名を崇めました。

これから、それぞれの地域教会に、あるいは教育関係の仕事に携わる卒業生たちの働きのために、主の豊かな祝福があるようにお祈り頂ければ感謝です。また、在校生たちは、夏休みに入り、実習することとなります。新学期が始まる8月に一人も欠けることなく帰ってくる事ができるようにお祈りください。■



■会計報告5月分
宣教献金 一、四四四、六五〇円
月平均 二、一六六、四四七円

お祈りの課題

台湾(平瀨)

- ◆6月9日(日)「ペンテコステ礼拝・会堂移転記念礼拝」の祝福とフォアアップのため
- ◆台南日本語礼拝が日本語礼拝を必要とする方に届くことができまよぶに
- ◆子どもたちの学びと導きのため(明里は6月半ば卒業、勝大は中3)

台湾の政治、治安が安定するよ

- ◆来年1月総統選挙
- ◆ケニア(鳥田就子)
- ◆5月も巡回奉仕が守られ、6月に出国できた感謝
- ◆第6期の開始にあたり、諸手続きと準備が祝されるように
- ◆テナウエク病院の働き人(ルカ一〇章2節)特に麻酔科と検査室の必要が満たされるように

フィリピン(豊田)

- ◆夏休み中、学生たちがサタンの誘惑、攻撃から守られ訓練と学びに励むことができるように
- ◆1年度のマニラ日本語キリスト教会(MJCC)の働きのため
- ◆事故、事件、怪我、過ち、災害から家族が守られますように。子どもたちの学びのため
- ◆香港(鹿島)
- ◆創立10周年記念誌の完成感謝とこれからの伝道のために用いられるように
- ◆牧師の出入りが守られるように
- ◆11年目に入った歩みと相応しい礼拝場所が備えられるように

カンボジア(鳥田緑乃)

- ◆KCCをリードするヴァンデイー師、グレッグ宣教師、マーク宣教師に群の建て上げのために必要な霊的力と知恵が注がれるように。全伝道者に霊的一致が与えられ、聖霊の働きが進められるように
- ◆報告帰国のために米国に帰国されているマーク宣教師のご霊肉に聖霊の満たしを。特に水不足の生活で疲れきっている肉体の快復の時となるようにお祈りください
- ◆建設中に宣教師館が水浸しになった事故は、その後1階、2階とも全部新しく取り替えられ、完成しました。感謝。6月中の引越しのためにお祈りください

ザンビア(根廻)

- ◆病院の働きが祝されるように
- ◆8月の宣教訪問団の備えのため
- ◆健康が守られるように
- ◆ザンビア(富澤)
- ◆日々の生活の安全と見守り
- ◆訪問団受け入れの準備と祝福
- ◆必要な家の修理、手直しが問題なくできますように
- ◆グローバルユースミニストリー(鳥田康教・由理)
- ◆8月予定の隣国の青少年キャンプの祝福のため
- ◆GYMの集会から設立される予定の教会とGYMの間に健全な関係が築けるように。すべての必要(人材、会場、経済)が整えられるように
- ◆2年目の働きが着実に進められるためにスタッフのビジョンと霊的一致が与えられるように

聖宣神学院報



Immanuel Bible Training College

祈れない祈り

院長 ● 河村 從彦

「いっ言いなさい」

(ルカ11・2)

主の祈りを記録に残したのはマタイとルカです。どちらも主の祈りなのですが、文脈や背景を考えると意味が少し違います。マタイが「あなたがたはこう祈りなさい」(六・9)という書き方をしたのに対し、ルカは「祈るときには、こういいなさい」という書き方をしました。ルカはなぜ「いいなさい」と言ったのか。ただの表現の違いかもしれませんが、しかしルカの文脈を見ると少し意味がありそうです。

弟子たちはイエスさまに、「私

たちにも祈りを教えてください」とお願いしました。それに対してイエスさまが答えられたのがルカの主の祈りです。イエスさまは、祈りを知らないと申し出た弟子たちに、「いっ言いなさい」と、ひと言ひと言をかみ砕くように祈りのことを教えられました。主の祈りは、祈りを知らないという認識で祈ることが大切です。これが欠如すると、マタイの福音書が警告するように、祈りは偽善になる可能性があります。主の祈りは覚えてしまおうとつい速くなりませんが、本来はイエスさまからひと言ひと言を教えられるよう

にして、時にはつつかえるように、ことばに詰まるように「とつとつ」と祈るものなのです。

祈らなければ祈りを学ぶことはできないと言われます。祈ってみるしかありません。しかし祈りを学ぶとは、もし恵みの神学に立つならば、くり返し祈り込む修練とは違います。山上の説教のキーワードは五章20節ですが、そうだとすると、マタイの文脈では、祈りにおいても人間の努力や修練が決定的でないという意味になります。祈りの答えは、神さまが愛のゆえにやってくださる恵みの表れ以外ではありません。

どこまで行っても、自分は祈りを知らない、祈れないという謙虚さが大切な気がします。イエスさまがひと言ひと言を教えてくださるペースで、とつとつと祈る。それでよいのでしょうか。



神学院はアジサイが真っ盛りです

神学エッセー

福音主義キリスト教の始まり

①宗教改革からモラビア派まで



藤本 満

私たちプロテスタント教会は、一六世紀の宗教改革に起源を持っています。ドイツはルターに始まるルター派、スイスは各都市によって指導者は違いましたが、チューリヒのツヴィングリ、ジュネーブのカルヴァンなどを中心に改革派です。改革派は、オランダとスコットランドに波及します。そして、英国の英国国教会です。

それぞれがローマ教皇以上に聖書に権威を認めること、信仰によつて義とされること、 sacrament(sacrament)を洗礼と聖餐と二つにすること、牧師の結婚を認めること——ルター派、改革派、英国国教会(聖公会)は、それぞれに独自の神学を持っていますが、神学でも実践でも多くを共有していました。

その共有していた要素の最大級のもののが、いずれも国教会としての形態をとったことです。それは一つの支配体系を国全体で重んじるカトリック教会と同じです。ですから、一六世紀の宗教改革は中世の出来事であったと言われて

います。

近代人としての良心の自由、信仰の自由を認めるには、まだまだ時期尚早でした。国教会にはまることのできない人は、宗教難民として国を出ることになります。

今年はおランダで開かれたドルトレヒト会議四百年に当たりますが、このときもおランダ改革派の中でアルミニウスに賛同したレモンスト派という立場は否定され、彼らはオランダから退去することになりました。

こうして生じた多くの難民は、宗教的自由を守るために、国の外へ移住します。それらの宗教難民を受け入れたのが、モラビア派ツィンツェンドルフ伯爵で、彼の領地はヘルンフト(神の砦)となりました。

そこから信仰の自由を求めた人びとが最終的に目指したところがアメリカです。そして、その第一陣の船を率いてきたモラビア派が乗船していた船に、同乗していたのが英国国教会の司祭ウエスレー兄弟でした。

モラビア派の移住リーダーであったハレ大学教授のシユパンゲンベルクに導かれて、ジョン・ウエスレーは、そこから福音的(福音的)信仰(信仰)の体験に導かれます。そればかりか、2年半のジョージアでの働きを終えた彼は、後にヘルンフトを訪れて、信仰共同体の運営方法を学び、やがて生まれるメソジストに活用します。

◆インターンに派遣されて

イエスさまがともに

正規コース 竹内俊之

「見よ。わたしは世の終わりで、いつもあなたがたとともにいます。」(マタイ二八章20節)

メタボ&猫背でお馴染み「不思議オヤジとしちん」も、遂に5月14日よりインターン生として姫路教会での実習に入りました！

こんなに人(教会員の皆さんはもちろん、行き交う小学生や幼稚園に至るまで)や街の雰囲気まで穏やかで豊かな地域で学ばせて頂けることに感謝いたします。さすがに愛車「アトレイワゴンとしちん号」は軽自動車で、かつ結構いろいろ手近な荷物を積んだので、登り勾配は東名なのに60キロしか出ずに相当冷や冷やしましたが、途中3回、5時間もの休憩を経て半日かかって姫路に到着しハレルヤ！

到着翌日の祈祷会で姫路教会の皆さんとの初顔合わせ。お会いした男子信徒の皆さまの半分の方々(お二人)が私と同じ「1960年生まれ」の同世代！ いろんな方々とも親しく交わる自信はありつつ、やはり超緊張下でしたのでとても助けられました。そして迎

えた最初の聖日礼拝！ メッセージは主牧かつお目付役？の岩上祝仁先生が取り次いでくださった後、午後は歓迎愛餐会。求道中の方々も含めてたくさんの方々が来てくれたので、誠にありがとうございます。皆さんが来てくれたので、誠にありがとうございます。

者の方々にお残りいただき、誠に穏やか且つ楽しい時間を共有することができて、感謝でありました。そして翌週の祈祷会(水曜)から私による教会実習開始！ 母教会の高津教会と異なる来会者の方々が目の前でしっかりと聞いてくださるこの、歓びと緊張感！

ここに姫路は知人ゼロ！ 完全一人。寂しいけれど辛くない。それはイエスさまとジックリ一緒だから。正に備えられた霊的環境！ 全てイエスさまと伴について感じが、実に快適！ Rもいるし、あっ！姫路城に行かなくや。

◆日々の学びの中で

シーンレス

聴講生 矢代由有

おかげさまで聴講2週間2年目。しかし今春私はアイマスクで完全に遮光して入学式を迎えました。つまり「シーンレス」です。「シーンレス」とは全員のエッセイスト三宮麻由子さんの造語で、風景がないと言う意味です。

透光率1%のサングラスにもう

一枚暗いレンズを重ねてかけてもやはり目の痙攣や頭痛は止まらず、学院内の歩行訓練のために、専門の訓練士に学院まで来ていただくことになりました。

だから私は1年生です。右も左もわからない、人に手を引かれなければならぬ、そんな私に入学式のメッセージが響きました。ヨハネの福音書二章4節で、イエスさまはマリアに「What to me what to you」(女の方、あなたは何の関わりがありますか。)

つまりあなたの悩みは私にとつてなんですか、と尋ねてくださったのだと思います。私の悩みは、もう自分からは見ることができず、ただ見られるだけの存在になったということでした。見ないで食事をする、口の周りや衣服を汚してしまいます。そ



キャンパス整備のボランティア ありがとうございます！

れはまるで自分だけが暗い部屋にいて、周りの明るい世界の住人がじつとこちらを見ているかのような羞恥を覚えることでした。私の悩みをイエスさまは我が事として捉え、こう語りかけてくださったように感じました。

「わたしの十字架を見なさい。わたしの裸のはりつけの姿は、今も人の目にさらされている。」ただ見られるだけの存在に主もなつてくださった。だから私も手を引かれて歩む新しい学院生活を始める勇気を得たのです。

この勇気は皆さまの絶えないお祈りやご支援のおかげで生まれているのだと、感謝を日々新たにさせていただいています。

◆インターン実習の中で

あまつましみず

修了者コース 中尾敬一

あまつましみずながれきて、意味は分からなかつたけれど、記憶に残るメロディ。この讃美歌を歌うたびに、かつての日曜夜7時伝道集会を思い出します。オルガンと歌声、会堂の真ん中にある柱、なぜか思い浮かんでくるビビディバビディブー。意味が分からなくても思い出せるものですね。ところがこの讃美歌、教会福音

讃美歌にも入っているのです。そのままで。20年前で意味不明だったのに、今の人はなおさらメチカブラでしょう。と思いつつ、古語辞書を引いてみました。一読後

「いいですね。天の純粋な湧水が流れてきて世界中を潤している」という歌詞でした。もっと早く意味を調べてみればよかつたと心底思いました。

インターンが始まった3か月ですが、すでに山あり谷あります。ある時は、聖日の朝7時になって、「こんな神学校のレポートのような乾いた説教ではダメだ」と思い詰め、原稿を書き直し、結局15分しか説教できま

そんな頃、後援会の方が仕事終わりに、わざわざ武蔵村山教会まで自転車をこいで、励ましに来てくださいました。娘のためにハーモニカを吹いてくださり、しばらく話をし、自作の詩を残して帰っていかれました。

全一二編の詩集は「主よ、あの方の『水路』となれますように。」という詩で始まりました。その三節に「あまつましみず」があったのです。そうか、あまつましみずがあつて、私は水路なのだと思います。この湧水を運んでいるだけなのに、いや運んですらいけないかもしれない。「湧水はあちら」と看板を出し、飲みに来た人にコップですくって渡しているだけかもしれないと思つたのです。

私の神学生時代
北浦和で学ぶ
17期生 ● 斎藤園子



1964年(昭和39年)の4月、北浦和の神学院に予科生として入学を許されました。当時、予科生の教室は台所の隣に在った狭い図書室でした。学科によって本科生の教室への移動もありました。数年の社会人生活を経て、再び勉学に向かうのは苦勞の連続でした。内容が高度で別世界の学習に思え、さらには奉仕作業もあり、非常に疲れを覚えた日々の記憶がよみがえります。

聖書知識の乏しいことが考慮され、教団創設者で在られた院長の葛田二雄先生は、予科生のために聖書の時間割を設けて、自ら紐といてくださいました。聖書の深い恵みの中に主のご愛を諭され、感動の連続でした。今までの社会生活では味わったことのない楽しさに引き込んでくださり、疲れを忘れて学院生活に溶け込むことができました。なにより脱走せずに守られた特権は今も忘れられません。「あなたのみことばは私の上あごになんとかいことでしょうか。蜜よりも私の口に甘いのです。」(詩篇一一九篇103節)

神学院での合同祈祷会は最大の恵みであり、私にとって靈の宝庫でした。月曜日の夕刻7時半頃から深夜12時を過ぎることもありました。全学年が長テールの前に正座して院長先生の登壇を待つあの緊張感は、他では経験できないことでした。院長先生も教卓を外し、教壇の上に正座をしてお指導くださいました。主なる神さまはどのようなお方であるか、今までどこにおいても感じたことのない、厳肅さのただ中に導かれました。私は何者でここに座することが許されているのか、何のために呼び出してくださったのか、目ざす目的は何か、御前にどう在るべきか、主なるお方に全身全霊を捧げて頂く必須の時でした。

同窓生の近況

44期生

須賀川めぐみ教会 ● 館脇暁美



早いもので卒業から23年が経ちました。卒業後に導かれたのは福島県須賀川市にある教会です。当時は、旧東北伝道隊の解散により単立となっていた教会ですが、その後2004年に同じ群れであった5つの教会が再び集まり、「ミツシヨン東北」というグループを結成し今日に至っています。

神学院スタッフ...恵みの想起

真の礼拝を取り戻す

図書館補佐 小林佳

先日の年会の中で、内山勝代表が真の礼拝を取り戻すことの大切さを語ってくださいましたが、私自身もこの必要性を深く感じています。

● 後援会から感謝のご報告
会長 中山朝雄
昨年6月より開始した聖宣神学院創立70周年記念感謝献金は5月末をもって終了させていただきましたが、全国の教会・信徒の皆様からお祈りと共に心のこもった尊い感謝献金が届けられましたこと主にあつて心より感謝致します。

● ペテルハウスについてのお問い合わせ・お申込みは学務課・馬場姉まで。

● 神学院祈り会は9日(火)です。

サポーターズ

尊いお献げものに心より感謝申し上げます。5月の会計報告をさせていただきます。

5月分支援実状
〔今年度毎月献金目標〕
¥2,000,000

教会員による「神学院サポート献金」
¥623,600
教会団体による「神学院献金」
¥465,910
合計 ¥1,089,510
その他の献金(一時・特別)
¥70,000

振替: 00230-0-10138



学苑だより

公報

本部通達

「あなたが御霊を送られると彼らは創造されます。あなたは地の面を新しくされます。主の栄光がとこしえにありますように。」(詩篇一〇四・30、31)

梅雨明けとともに、本格的な夏を迎えておられることでしょう。夏の聖会や諸プログラムも本番を迎えます。大きな集いから小さな集いに至るまで豊かに祝福されますよう、ともに祈りましょう。

本部

(会議)

7日(月)～8日(火)

教団運営委員会(BTC)

(辞令)

沼津教会の合併に伴い、浜田耕三牧師を5月30日付で沼津教会の主任牧師から解任します。

渡辺芳子師の引退に伴い、浜田耕三牧師を6月30日付で金谷教会の主任牧師に任じます。

2019年6月10日

教団代表 内山 勝

沼津教会は5月30日付でシオンキリスト教団沼津教会への吸収合併を完了しました。

国内教会局

▽今月末から各地域の聖会が始まります(下段リスト参照)。

▽引退、休養等の意向のある牧師は、8月末までにブロックアドバイザーにお申し出ください。

世界宣教局

▽葛田就子宣教師(ケニア)は無事、テヌウェクに到着し、第6期の働きを開始しました。

▽鹿島義喜、理香宣教師(香港)では6月2日に開設10周年記念礼拝を行い、記念誌を発行しました。

▽平瀬義樹、光世宣教師(台中教会)は、6月9日に新会堂移転礼拝を行いました。

▽6月11日には春の世界宣教局員会がネット会議により各宣教地をつないで行われました。

▽根廻恵子宣教師(ザンビア)の巡回報告は2019年11月から。

▽豊田常喜、恭子宣教師ご家族(フィリピン)の巡回報告は2020年4月半ばから8月半ばです。宣教師の巡回申し込みは葛田敬子師(神栖教会)まで。

(IWF関係)

▽ウエスレアンのロビン・ホワイト、陽子宣教師ご夫妻は6月21日に報告のためカナダに出発されました。1年間の巡回報告です。

(IWF関係)

▽WGMのホーリー・ミュールハイゼン宣教師は、本年秋季、日本への再赴任を目標に巡回奉仕にあたっておられます。

▽今月中旬に、フィリピン・ウエスレアン教会のギリアモ総理、ルマハン世界宣教局長が来日し、本部訪問を予定しております。

▽宣教師は各教会、聖会での奉仕が可能です。申し込みは直接、宣教師まで。教会で宣教師を招くための経済的援助を必要とする場合はIWF委員、梅田登志枝師に。

教育局

(教育部・生涯学習課)

◇西日本地区牧師夫人研修会 日程：7月1日(月)～2日(火)

会場：神戸の母の家ホテル 講師：釣俊栄師、梅田登志枝師

◇青少年部・青年課 (青少年部・青年課)

◇YSB委員会 6日(土)・本部会議室

◇青年課運営委員会 (4名の信徒青年委員を迎えます) 日程：8月3日(土)

(中高生課)

◇第12回とにキャン2019 日程：8月13日(火)～16日(金) 会場：聖山高原チャペル

講師：安藤理恵子師 テーマ「Get over your wings!!」

ユースミッションのご案内 本年8月24日(土)～25日(日)、小松教会にてYMを開催します。詳細は申込書をご覧ください。

聖宣神学院

▽YS・BTC 8月11日(日) 夜13日(火)午前。講師は大兼久芳規先生。引き続き「とにキャン」参加のため聖山行の便あり。

▽信徒土曜講座の申込は今からでも可能です。

◇キリスト教って何? (河村從彦先生) 7月20日開講・4回コース

◇教会学校について考える(岩上祝仁先生、内山勝先生、戸塚雅昭先生) 10月5日開講・4回コース

◇夏期実習は8月5日(月)～9月29日(日)の8週間です。

▽ベテルハウスのお問い合わせ・お申込みは学務課・馬場姉まで。ベテルハウスご利用の方は、次のことをお願いいたします。

(1)キャンパス内は通行できません。商大側の側道をくだってベテルハウス門からお入りください。

(2)駐車は神学院の駐車場ではなく、ベテルハウスの駐車場をご利用ください。20台駐車可です。

▽神学院祈り会 7月9日(火)午後6時から本部会議室で。

▽秋の入学審査は9月2日(月)に行います。出願締切は8月19日。

▽オープンキャンパス 10月18日(金)～19日(土)の日程です。

お申込みは学務課・馬場姉まで。ベテルハウスご利用の方は、次のことをお願いいたします。

(1)キャンパス内は通行できません。商大側の側道をくだってベテルハウス門からお入りください。

(2)駐車は神学院の駐車場ではなく、ベテルハウスの駐車場をご利用ください。20台駐車可です。

▽神学院祈り会 7月9日(火)午後6時から本部会議室で。

▽秋の入学審査は9月2日(月)に行います。出願締切は8月19日。

▽オープンキャンパス 10月18日(金)～19日(土)の日程です。

▽後援会関係各教会の世話人のご推薦をお願いします。

■信徒局 信徒委員として次の2名の方々が任命を受けました。

壮年部 小町寛(富士見台教会) 女性部 立原珠己(中目黒教会)

7月、8月の聖会開催情報

◇ポプラ聖会(北海道教区) 8月15日(木)

講師：川嶋直行師 会場：札幌教会

◇東北南聖会 7月28日(日)～30日(火)

講師：岩上祝仁師 会場：作並温泉グリーングリーン

◇東北北聖会 7月30日(火)～8月1日(木)

講師：岩上祝仁師 会場：いこいの村岩手

◇東関東聖会 8月5日(月)～6日(火)

講師：岩上祝仁師

会場：成田ビューホテル

◇四国聖会 8月6日(火)～8日(木) 講師：葛田崇志師

会場：セントラルホテル鴨島

◇九州聖会 8月20日(火)～22日(木) 講師：阪下謙師、小川宣嗣師、吉村和記師

会場：阿蘇の司ピラパークホテル

消息報告



▼峯尾悌一師(別府教会)のお母様、峯尾節子師が5月20日、88年の生涯を終えて召天されました。ご遺族にお慰めをお祈りください。

▼渡辺芳子師(金谷教会)は6月30日の聖日を最後に引退されました。これまでの御労に主のお報いをお祈り申し上げます。引退後の住居は呉ベタニヤホームです。

▼長崎教会は、7月8日より牧師の仮住居が長崎市千歳町19・11メゾン千歳502となります。

長崎教会(坂田秀孝牧師)は現教会堂を建て替えることを決定しました。このために要する建設費用三、三三五、〇〇〇円は自己資金にて充当します。正規の手続きを経て責任役員会は承認しました。

2019年6月7日

イムマヌエル綜合伝道団

教報PDFパスワード 2630

責任役員会

新生宣教団 定価 一部〇〇円(税込)

郵便振替 001107133609

印刷所 埼玉県比企郡鳩山町熊井七〇

〇〇〇ビル イムマヌエル綜合伝道団本部

発行人 内山 勝 編集者 寺村秀嗣

発行所 東京都千代田区神田駿河台一